

## 65歳以上のみなさん！早めのインフルエンザ予防接種を！！

新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、この冬に向けてインフルエンザ予防接種を考えている仲間も多いと思います。新型コロナウイルス感染症の味覚障害や嗅覚障害がない場合や、インフルエンザにおける突然の高熱発症がない場合、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを症状（発熱や倦怠感等）のみで判断することは困難とされています。

症状だけでインフルエンザの治療が行われた場合、新型コロナウイルス感染症を見逃してしまうおそれがあるので、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の両方の検査をすることになります。日本感染症学会では患者さんの負担軽減と医療機関のひっ迫を避けるためにもインフルエンザ予防接種を推奨しています。

厚生労働省はインフルエンザワクチンをより必要とされる方に確実に届くように、接種時期の協力を呼びかけています。

2020年9月11日 厚生労働省新型コロナウイルス感染症 対策推進本部 より

10月1日～

接種希望の方はお早めに

**65歳以上の方(定期接種対象者)\***

\* 65歳以上の方のほか、60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全等がある方

\* 定期接種の開始日は、お住いの市町村で異なりますのでご確認ください。

上記以外の方は10月26日まで接種をお待ちください  
65歳以上の方の接種ができるようご協力をお願いいたします

10月26日～

接種希望の方はお早めに

**医療従事者**

**基礎疾患がある方**

**妊婦**

**生後6カ月～小学校2年生**

上記以外の方も接種できます

☆インフルエンザ予防接種は必ず接種しなければならないものではありません。

☆インフルエンザ予防接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度おさえる効果が期待できる一方、健康状態などによっては副反応など生じる場合もありますので、かかりつけ医等と相談し、接種を検討してください。

☆副反応とはどんな症状？

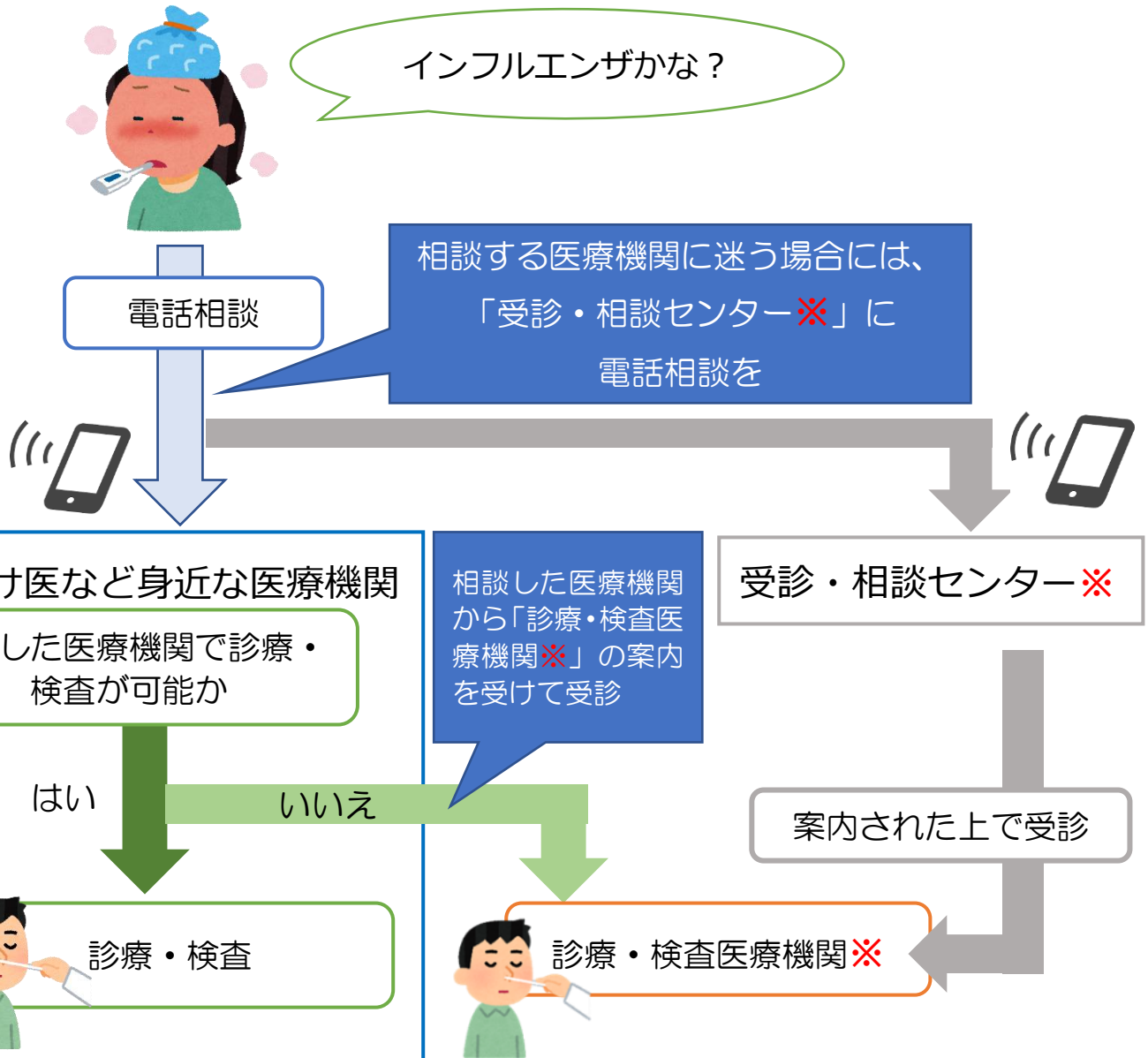
薬でいう「副作用」と同じ意味です。ワクチン接種により免疫をつけることに伴って発症する反応です。

接種した場所が赤くなる、腫れる、痛み等。全身の反応は、発熱、頭痛、悪寒、だるさ等。

重い副反応は、アナフィラキシー（重いアレルギー反応）、脳炎・脳症、けいれん、肝機能異常、じんましん、じんましん以外の発疹等です。

# インフルエンザかな？まずは身近な医療機関に電話相談しよう！

- 発熱等の症状が生じた場合には、**まずはかかりつけ医などの地域で身近な医療機関に電話相談**しましょう。
- 相談する医療機関に迷う場合には、「**受診・相談センター※**」に相談しましょう。



※2020年10月23日現在、「受診・相談センター」「診療・検査医療機関」の正式名称および連絡先等は公表されておりません。公表され次第追加いたします。